

平成 29 年度東部北地区・西部南地区情報交換会、懇親会 報告書

平成 29 年 9 月 16 日

桑原 淳一

日時 平成 29 年 8 月 5 日(土) 午前 10 時 30 分～午後 0 時 30 分

場所 高尾山ビアマウント展望台

参加者 東部北地区 27 名、西部北地区 54 名 都高 P 連 1 名 計 82 名

八王子東からは桑原が参加

参加費 3,500 円

情報交換会

①開式挨拶 都高 P 連 西藤副会長（西部南地区）

②地区長挨拶 東部北地区 丸山地区長（足立高校 P T A 会長）

西部南地区 中村地区長（富士森高校 P T A 会長）

③来賓挨拶 都高 P 連 池本会長

各校の P T A が何を求めているのかを、会員の皆さんの声にきちんと耳を傾け、皆様の力を借りながら、都高 P 連の存在意義を実感できる活動にしていきます。加盟校の皆さんに「加盟していて良かった！」と感じていただく仕組みを確立し、未加盟校の加入促進活動を積極的に進めて行きます。

参考：現在都立高校は 186 校、都高 P 連加盟校 74 校 加盟率 40%（全国で最低）

④ P T A 活動発表

1. 「P T A 活動に参加して頂くために」 向丘高校 P T A 高田会長

向丘高校のある文京区には、東京大学、お茶の水大学、中央大学、拓殖大学 順天堂大学、日本医科大学等 たくさんの学校が林立する「文京」の地にある。向丘高校はマンションに囲まれ、校庭もゴムチップマット 50m がギリギリと狭いため、体育祭は他に場所を借りて実施するビルの谷間にある高校。

課題

子どもが学校からのプリントを見せず、保護者は P T A 活動への理解が低く、また、保護者同士のつながりがないため、学校で子どもがどのように過ごしているのか？ 学校での進路指導がどうなっているのかが、分からない状態だった。

解決に向けた活動

P T A メールの配信を開始

1 年目の配信メール参加率は 30% だった。

配信メールを学校行事、P T A 行事のたびに P R。部活動つながりで P R。

先生方にも P R した結果、3 年目には参加率 98% に向上。

これにより、各行事への参加率が増加し、保護者会の参加率も増加した。

現在はPTA主催の進路講話など学校、PTA、同窓会が連携した活動をするようになった。これらの活動により大学進学率も向上した。

おまけ

「PTA主催の保護者向け進路指導講演会で演者から言われた言葉」

子どもに言ってはいけないNGワード

- ・今どき、大学くらい出て当たり前
- ・そんな大学聞いたことない
- ・○君は△大学を受験するんだって

お子様の目標は大学に進学することですか？友人より難しい大学に進むことですか？夢へと続く道は無数にあります。「否定」ではなく、進路の視野を広げるアドバイスをしてあげてください。子どもの成長や変化に注目し、可能性を信じるのが大切です。

- ・地元の国公立大学しかダメ
- ・今夜も夜食を用意するから頑張る

子どもは保護者が思う以上に家計を気にしています。「できればそうしてほしいのだけど」と言葉を添えた上で子どもの希望を聞き、よく話し合ってください。過度なプレッシャーは逆効果になります。現実逃避の走り、勉強をやめてしまうこともあります。

2. 「国立高校PTA活動の紹介」 国立高校PTA 児玉会長

来場者が一万人を超す国高祭は、日本一の文化祭とも言われ、文化祭に憧れて入学する生徒も多い

生徒の部活動参加率は120%「全部やる、みんなでやる」を合言葉に文武両道を目指している。

PTAは役員会、学年委員会、文化部、広報部、生活部（国高懇談会を開催し生徒の学習、生活、健康などに関する問題解決に役立つ活動を行う）

また、会計監査は完全に独立している。

「国校懇談会」とは、保護者が学年を超え、卒業生の保護者も交えて、子供たちの学習、部活動、進路、生活といった国高での生活全般に関する悩みや体験を話し合う場。

PTA行事と参加者数

講演会

26年度「走り続けて思うこと～10代の子どもを持つ保護者へのメッセージ」85名

27年度「幸せな進学を実現するために～子どもの夢を叶える進学マネー術」99名

28年度「日常生活における氣の活用法～ここ一番で本来の力を発揮する方法」115名

バス研修旅行

26年度「富岡製糸場とガトーフェスタハラダ」参加者 136名 申込数 234名

27年度「勝沼ワイナリー、影絵の森美術館」参加者 138名 申込数 146名

28年度「築地場外・そなエリア・浅草水上バス」参加者 141名 申込数 185名

国高懇談会

26年度 参加者 161名

27年度 参加者 181名

28年度 参加者 241名

国高PTAの良いところは？うまくいっているのはなぜ？

「組織体系」

- ・ 詳細な引継ぎ資料がある。
 仲良くなる工夫も引き継がれている。(名前で呼ぶ。ランチ会の時期等)
- ・ 引継ぎのままでなく、その年毎に工夫して改良していく文化がある。
- ・ 各部会に本部担当者がいて、相談しやすい環境が整っている。

「行事」

- ・ 綿密な計画をたてる。
 バス研修旅行：実地調査 バス、ランチ等の座席等、話しやすいように配置
 国高懇談会：同じ興味、同じ部活の保護者を同じ部屋にする
 講演会：ミニレクチャーも
 参加者が楽しめるように事前の準備を周到にやる
 受身だけではなく参加型
 例：氣の活用法、そなエリア東京（防災体験学習）
- ・ 当日は委員も楽しむ
- ・ 振り返り：上手く行ったこと、更なる改善点を話し合っ次年度以降に活かす。

「保護者」

- ・ 保護者会、行事への出席率が高い
 いろいろなことに興味を持っている人が多い。
- ・ 三年間クラス替えがないので、保護者間の仲が親密だが、程よい距離感もある。また、縦のつながりも強いので、口コミ力が高い。
- ・ マナーやルールを守ってメリハリのある活動ができる。
 (部活の保護者会、役員会)

PTAやるなら楽しく！ 子供たちが学校生活を満喫しているので、私たちも
 私たちで負けずに楽しもう！

⑤懇親会 乾杯の音頭 八王子東 桑原

景色が良いピアマウント展望台で飲み放題、食べ放題を楽しみながら、各校と情報交換を行いました。